

未来につなぐ、私たちのストーリー



街の鼓動に敏感です

朝日信用金庫

2026年9月30日

「サステナビリティ・リンク・ローン」による融資契約締結について

朝日信用金庫(本部 東京・千代田区／理事長 伊藤康博、以下「当金庫」)は、持続可能な地域社会の実現と、お客さまの脱炭素経営への取り組みに貢献するため、2026年9月30日(水)に以下の事業者さまと「サステナビリティ・リンク・ローン(以下「SLL」)」の契約を締結したことを、お知らせいたします。

当金庫では今後も、持続可能な地域社会の実現に金融面から貢献するため、さまざまな金融サービスを通じて、お客さまのニーズにお応えできるように努めてまいります。

【企業概要】

事業者名	相互建設株式会社
代表者名	頼母木 久継
本店所在地	東京都台東区浅草5丁目3-15
事業内容	建設工事業
設立	1963年3月
会社HP	https://www.sougokensetu.com

【契約概要】

契約日	2026年9月30日(水)
取扱店	浅草支店：東京都台東区浅草4-49-12
KPI	当社におけるCO ₂ 排出量の削減率(Scope1 + Scope2)
SPT	CO ₂ 排出量の削減
フレームワーク	朝日信用金庫サステナビリティ・リンク・ローンフレームワーク (株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得)

SLLとは、事前に定めた重要な評価指標(KPI)に対して、野心的なサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(SPT)を設定し、SPTの達成状況に応じて金利が変動する融資商品です。朝日信用金庫のSLLは、お客さまとともに「脱炭素(カーボンニュートラル)」を目指していくため、KPIを「CO₂排出量の削減率」、SPTを「CO₂排出量の削減」として設定し、その達成状況に応じて金利が変動する仕組みとしています。

なお、朝日信用金庫が策定したサステナビリティ・リンク・ローンフレームワークは、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センターより、サステナビリティ関連の原則等に整合しているとの評価を得ています。

事業者の「想い」

ず〜〜っと▶▶▶いつも▶▶▶これからも
エネルギーに“真摯”=“ひたむき”です。

私たちは日々のメンテナンス及び工事で
ガソリン、ガス、太陽光電力のエネルギーの
安定供給に尽力してきました。

これからは、すでに掲げている
「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」
だけではなく、
「気候変動に具体的な対策を」
についても貢献するため、
脱炭素への取り組みを進めてまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【 事業者さま(以下「当社」)について 】**<当社の概要>**

当社は、1963年に東京・浅草にてガソリンスタンド関連の建設工事業として創業。

ガソリンスタンドは、高度成長期のマイカーの爆発的な普及とともに新設が相次いだ頃から、重要な社会インフラとしての役割を果たしてきました。危険度が高く、安全性が求められるガソリンスタンド関連の施工技術は、取引先から高く評価されており、その事業領域は、

- ガソリンスタンドの企画・設計・工事
- (新設、リニューアル、建替え、土壌汚染調査・改良、油設工事、メンテナンス、改修、解体)
- ガス施設・危険物施設工事(新設、メンテナンス、改修、解体)
- 太陽光発電所の保守メンテナンス(保守、点検、メンテナンス、緊急時駆け付け)
- ロードサイド店舗・倉庫等の一般建築物工事(新設、土木、舗装、メンテナンス、改修、解体)

など、多岐にわたります。

<当社のフィロソフィー・企業理念>

当社は、以下の「フィロソフィー(Philosophy):企業として大切にしている価値観」および「企業理念」を定めています。

フィロソフィー(Philosophy)
Sincerity & Integrity

当社は、取引先のみならず、仕入先や社員など、すべてのステークホルダーに対して誠実であること、「Sincerity：心の誠実さ」と「Integrity：行動の誠実さ」の両方を追求することで、「ステークホルダーからの信頼の獲得」、ひいては「自社の発展」へとつなげていきたいと考えています。

企業理念

**日々のメンテナンス&工事で
ガソリン・ガス・太陽光電力の
エネルギーの安定供給に貢献します。**

当社は、「豊かな社会」を実現するため、主にガソリンスタンド関連の小規模な改修工事から大規模施設の解体まで、安全に最大限配慮した丁寧な施工及び工事を行うことで、エネルギーの安定供給に貢献しています。



【当社のサステナビリティ方針について】

当社は、企業理念に基づいて、SDGsの「7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに」を実現することを目指しています。また、「地球温暖化に直接的な影響を及ぼす化石エネルギー(ガソリン)を供給するガソリンスタンド」に関連が深い建設業者であることから、エネルギーの安定供給だけでなく、地球温暖化の抑制にも貢献すべきではないか、という問題意識を持っていました。

したがって、新たに「脱炭素」という目標を掲げることで、「エネルギーに関わる事業者として、地球温暖化の抑制、ひいては持続可能な地域社会の実現に貢献することを明確にしていきたい」と考えています。

<気候変動に対する考え方、対策および方針>

当社は、気候変動が引き起こす自然災害が、自社の事業活動に大きな影響を与える可能性がある重大な課題であるとの認識に基づき、以下の取り組みを進めてまいります。

- ✓CO₂排出量の削減
- ✓エネルギー消費量の削減
- ✓再生可能エネルギーの活用を検討
- ✓環境に関する法令等を遵守

<取り組み目標>

当社は、以下の目標を掲げています。

- ✓長期目標として、2050年度までに「カーボンニュートラル」を達成
- ✓短期目標として、毎年度2.8%以上のCO₂排出量の削減

【当金庫の評価】

化石エネルギー業界全体がサステナビリティ経営への取り組みを強化する中、当社も脱炭素を自社の課題として捉え、SLLにおけるSPTのほか、自社のサステナビリティ方針において、地球温暖化に対する高い問題意識と、CO₂排出量削減に向けた対策及び取り組み方針が示されています。また、具体的な取り組み目標を掲げており、今後は適時、適切に对外開示されます。

当金庫は、当社の環境課題解決へのお取り組みに敬意を表し、またそのお取り組みに貢献するために、SLLの融資契約を締結いたしました。

今後も当社のお取り組みに貢献できるよう、努めてまいります。

以 上

《 本リリースに関するお問合せ：朝日信用金庫 融資業務部 高木 TEL 03-3862-7929 》